



ネリーズ通信

第26号 2023年3月

編集発行責任者 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会



ネリーズ紹介No.23

ネリーズは日々の暮らしの中で、近隣の方たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守りあい、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指している地域の皆さんです。

富永さんは光が丘の地域で青少年育成委員や民生児童委員、自治会などを始めとして、長年にわたり様々な地域活動に精力的に取り組まれてきました。その活躍ぶりは多くの方に知られているところでもあります。改めて活動のきっかけや地域への想い、現在の活動などについてお話をうかがいました。

光が丘地区

とみなが あいこ

富永 愛子さん

好きなようにやってきた

色々な人と出会えたことが幸せ

光が丘団地として整備され間もない昭和61年に光が丘に越してきました。地域との関わりが生まれたのは当時娘の通う学校の教職員と保護者の会の代表をすることになったからです。PTA作りに取り組んだり青少年育成委員を担ううちに多くの人と出会いました。その人との縁をきっかけに1990年に「反アパルトヘイト国際美術展」を開催したことが私にとって大きな分岐点となりました。様々な実施団体が協力して世界を巡回する形で開催された展覧会でしたが、光が丘で行ったものは主婦達が中心で行うものとして注目されました。実施するまでに様々な課題が生じて、その都度頭を悩ませながらも、これまで以上にたくさんの人と出会い協力しながら光が丘で無事開催することができ、社会に参加する素晴らしさを感じました。



その後も光が丘フェスティバル実行委員や民生児童委員、子ども食堂「みんな家」など、自分がやりたいと思ったこと、人との縁でお願いされたこと、様々ですが気が付いたら15種類ほどの事業に関わっていました。民生児童委員を退任するのを機に自分で区切りをつけることも大事だと思い整理して、今は「みんな家」等ごく限定して取り組んでいます。「みんな家」は子どもの貧困に対して何かできないかと考え、顔が見える地域の関係作りを6年前にスタートしました。コロナ禍で活動内容は変更せざるを得ませんでした。今後も自分たちにできることを考え実践していきたいです。

これまでの活動を振り返ると自分のやりたいことを好きなようにやらせてもらえて幸せだと思います。苦しい思いをしたこともありますが、困った時に困ったと周囲に相談しながら何とか続けていると助けてくれる人が現れるものです。色々な人と出会い色々な体験ができたことを感謝しています。

地域活動の大先輩！富永さんのお話を聞いて光が丘の街がたくさんの人の表情で一層輝いているように見えます。「自分が好きなようにやりたかっただけよ」とさらりと笑顔で語る富永さんですが、自分に出来ることで地域に、社会に貢献したいというひたむきな情熱に多くの方が心を動かされたことを改めて感じました。

私の一枚

北町の田中さんが 選んだ一枚

登校中ばかりでなく、下校中にも挨拶されることがありますが、うれしいものです。マスク越しにもわかるらしく、「〇〇ちゃんのおじいさんだ。こんにちは！」ハキハキと受け答えしてくれます。

～ネリーズかるた～



と 登校中
自然にあいさつ
自然に笑顔

読み札の作者エピソード：

登校中の小学生から挨拶をされ
思わずこちらも嬉しくなり
笑顔になりました。



1/24 『ネリーズ懇談会』の様子をお届けします！

『様々な人との出会いを通して、多様性を知る機会をつくりたい』そんな思いで企画した第2弾は、あかねの会が運営するカフェレストラン われもこうにて開催しました。



あかねの会理事長の吉田さんからカフェが出来るまでのエピソードや、自分の生き立ちを話していただきました。その中で、様々な人との出会いや葛藤から生まれた“障害がある、なし関係なく共に生きる社会をつくりたい”という強い想いをうかがい感銘を受けました。



参加したネリーズからは、「自分の弱さや偏見への気づき、一人ひとりが心地よく生活できる地域にしたい」との声が聞かれました。



シフォンケーキもおいしかった！



ネリーズほっこりエピソード

街で見かけた、嬉しかった、笑顔・幸せになれた、これもネリーズかな？



散歩で会話をするのが好きです。コンビニに行くのが楽しみ。「こんにちは」と挨拶すると、「いつもありがとね」と返答がある。スーパーやドラッグストアでも同じ。自分が忘れていても向こうが覚えてくれていてビックリする時も。でも、挨拶は大事。“こんにちは”“ありがとう”は気持ちのいい感謝のこころ。(早宮のトミーさん)

買い物帰りのおばあさんが、乗っていた自転車から転げ落ちた。すかさず勤め帰りのおじさんたちが、5人ほど駆け寄った。買い物袋を拾う人、倒れた自転車を起こす人、おばあさんを励ます人。

おばあさんを抱き起こし、その場を後にする。後ろから「気をつけて下さいね」、「大丈夫ありがとう」が、笑い声と一緒に聞こえてきた。(練馬の隣さん)



引越しをして支援者の人や街中で出会った人と、挨拶をして他愛ないおしゃべりをすると思えないと思えた。もっと知り合いを増やして話せる人が多くなればと思う。

お互いに良い所も悪い所も含めて、地域で安心して生活していけることが大切です。(南大泉のうねりみちこさん)



地元の八幡神社で初詣の帰りに、日向の紅梅がちらほら咲いて、メジロが2羽連れ添っているのが目に留まりました。身も心も温かくなりました。

(中村北のチャコさん)



人と人のつながりから笑顔が広がっている様子を「ほっこり」をいただきました!(^^)!

たくさんの投稿をありがとうございます。

スペースの関係でいただいたすべてのエピソードが掲載できず申し訳ありません。今回も FAX 用紙を同封しております。皆様からの投稿をお待ちしております!!メールでも受け付けています☒

◆お問合せ◆

社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会

〒176-0012

練馬区豊玉北 5-14-6 新練馬ビル 5 階

<https://www.neri-shakyo.com/>

E-mail/info@neri-shakyo.com

TEL 03-3992-5600

FAX 03-3994-1224